

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科	
科目名称 [英語名称]	病弱児の心理・生理・病理 [Psychology, Physiology and Pathology of Children with Health Impairments]				実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○	
科目コード	750139	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次		
教員氏名	野村 宗嗣				学位授与の方針 との関連	DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP3(1) DP3(4)			
授業概要	本授業の目的は、特別支援教育(病弱児教育)者に求められる、資質や責任等について学びを通して、特別支援としての自覚や意欲を養うことである。病弱児教育に求められる内容等について、子どもがかかりやすく、しかも病弱児教育と関連のある疾患について学ぶ。また、教育現場での実態等について説明し、支援に際しての心理的特性や医療及び福祉との連携について学ぶことで、子どもの実態に即した指導や支援、それを支える環境のあり方を理解するとした。								
関連する科目	病弱児教育総論								
授業の進め方と方法	病気・障害の理解と支援を実践事例を交え、学ぶものとする。また、グループディスカッションを織り込み、グループ毎に発表する機会を設定する。また、発表内容についての質問等を受け付け、内容の深まりを追求する。								
授業計画	第1回: 病気・障害をめぐる動向 第2回: 病弱、障害児教育の歴史的展開 第3回: 循環器疾患の理解と支援 第4回: 呼吸器疾患の理解と支援 第5回: 悪性腫瘍の理解と支援 第6回: 腎・泌尿器疾患の理解と支援 第7回: 成長障害・内分泌疾患の理解と支援 第8回: 消化器・肝臓・栄養疾患の理解と支援 第9回: 神経系疾患の理解と支援 I (てんかん 脳性麻痺 ダウン症 神経皮膚症候群) 第10回: 神経系疾患の理解と支援 II (精神遅滞 脊髄性筋萎縮症 筋ジストロフィー 水頭症) 第11回: 病気、障害の受容とセルフケア 第12回: 病気、障害の子どもの心理的井特性 第13回: 医療・福祉との連携 第14回: 病気、障害のある子どもを支える社会保障制度 第15回: 病気、障害のある子どもを支える医療制度								
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な疾患とその治療方法の特徴を知り、求められる病弱児への理解と支援方法について理解する。 病弱児の生理・病理と生活の実態から派生する心理特性について理解する。 医療・社会福祉制度が病弱教育の場でどのように運用されているかを理解する。 								
授業時間外の学修	[予習]次時の学習に向け提示される課題や配布される資料等を読み、講義内容の概略を理解するとともに、用語等の意味を調べる。(1.5時間) [復習]授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。授業から提示された課題等に対して、自分なりの対処方法や見解をレポートにまとめる。(1.5時間)								
課題に対するフィードバック	毎回の要点整理のレポートと課題に対するレポートは、次時の授業時間に評価・解説を行う。			評価方法		以下3項に基づき、評価する。 ①要点整理のレポート:20% ②定期試験:60% ③課題レポート:20%			
テキスト	適宜、資料を配布する。								
参考書	・全国病弱教育研究会編「病気の子どもの教育入門」(クリエイツかもがわ)・小野次郎・西牧謙吾・榎原洋一編著「病弱児の心理・生理・病理」(ミネルヴァ書房)								
備考									